SELEN

日本国内専用
Use only in Japan

屋内専用

ホームネットワークカメラ

SIP-350
取扱説明書

保証書付：保証書のお買い上げ日、販売店などの記入をお確かめください。
このたびは、ホームネットワークカメラ SIP-350 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

主な特長

●スマートフォン・タブレット（iOS、Android）で、大切な人を見守ります。

● 2 回のタップで簡単にカメラ映像を見ることができます。

⇒ アプリ「SIPCamLive」を起動（1 回目のタップ）

⇒ カメラ（カメラリスト）を指定 （2 回目のタップ）

●アプリにカメラ最大４台まで登録可能です。

●配線が不要なワイヤレス LAN（W LAN）機能付です。

●フリックでカメラのパン・チルト機能を操作できます。

水平角度 320˚、垂直角度 120˚のパン・チルトカメラ

●カメラに声を伝えたり、カメラ近くの音を聞いたりできます。

（マイク、スピーカー付）

●スナップショット機能付。

●ピンチでライブ映像が拡大、縮小します。

●工事設計認証取得。

梱包内容 梱包の中に下記のものが入っていますので、ご確認ください。

梱包内容	数量	用途など
カメラ本体	1	ホームネットワークカメラ
専用 AC アダプター	1	本製品に使用する専用 AC アダプター（DC5V）です。
専用アンテナ	1	ワイヤレス LAN(WLAN) 用のアンテナです。
LAN ケーブル	1	本製品とルーター等と接続する LAN ケーブルです。
取扱説明書（保証書付）	1	本製品を使用する上での注意事項や使用方法が記載されています。

目次

安全上のご注意…… P.4
使用上のご注意…… P.6
セキュリティに関するご注意…… P.8
プライバシーに関するご注意…… P.8
免責事項…… P.10
各部の名称とはたらき…… P.11
使用開始の準備と使用イメージ…… P.12

【設定・操作】 …… P.13
〈使用を開始する〉
アプリのインストール…… P.14
カメラの追加【iOS 端末】…… P.16
カメラの追加【Android 端末】…… P.18
カメラリストの画面操作…… P.20
リスト内のカメラを削除【iOS 端末】…… P21
ライブ映像の画面操作…… P.22
スナップショットの編集…… P.24
音声設定…… P.29
カメラ設定…… P.30
詳細設定…… P.32
パスワードの変更…… P.33
画質設定…… P.34
上下・左右反転設定…… P.35
環境設定…… P.35
WLAN 設定 …… P.36
仕様…… P.39
保証書…… P.40

本書の表記について

○操作方法は、下記を例に説明しています。
【iOS 端末】MD240J/A（iOS バージョン 7.1）、SIPCamLive バージョン 1.8 のイラスト・画面
【Android 端末】HTC J ISW13HT（Android バージョン 4.0.4）、SIPCamLive1.0.3 のイラスト・画面
○本書では、Android 搭載商品のスキャナー画面は「QR コードスキャナー」を使用したものです。
○本書に表記した他社商品名は参考を目的としたものであり、それらの製品の使用を強制あるいは推奨するものではありません。
○本書では、SIP-350 を「本製品」と表記しています。
○本書では、「ホームネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
○本書で表記しているイラストや画像は、実際とは異なる場合があります。
○映像の画面は、はめ込によるイメージです。
○本書では、アプリケーションをアプリと表記しています。

安全上のご注意　〈必ずお守りください〉

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 「死亡または重傷※1を負う可能性がある内容」を示しています。	⚠注意 「軽傷※2を負うことや、物的損害※3が発生する可能性がある内容」を示しています。

※1：重傷とは、失明やケガ・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中傷などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■「図記号の意味」

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

禁止 してはいけないこと（禁止）を示します。	指示 しなければならないこと（指示）を示します。

⚠警告

分解・修理・改造しない
分解禁止
●火災・感電の原因になります。
➡修理は販売店へご相談ください。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない
水ぬれ禁止
●火災・感電の原因になります。
➡ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

電源コードや接続コードを無理に引っ張ったり、ぶらさがったりしない
禁止
●電源コードが抜けることによる感電や、カメラの落下によるけがの原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない
禁止
●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない
接触禁止
●感電の原因になります。

ACアダプターのプラグのほこりは定期的にとる
指示
●プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
➡ACアダプターを拭き、乾いた布でふいてください。

ACアダプターは、付属または指定のものを使う
指示
●それ以外のものを使うと、火災の原因になります。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときはACアダプターを抜く
電源プラグを抜く
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
➡使用を中止し、販売店へご相談ください。

ACアダプターの電源コードやプラグを破損するようなことはしない
禁止
●傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。
●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
➡コードやACアダプターの修理は販売店にご相談ください。

ACアダプターはぬらさない（ACアダプターは防水構造ではありません）
水ぬれ禁止
●火災・感電の原因になります。
➡ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本体・ACアダプター・電源コードに触れない
接触禁止
●感電の原因になります。

ACアダプターのプラグの根元まで確実に差し込む
指示
●感電や発熱による火災の原因となります。
➡傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプターを抜き差しする場合はアダプター全体を持って抜き差しする
電源プラグを抜く
●コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。

⚠警告

長時間使用しないときや、お手入れするときは、ACアダプターをコンセントから抜く
指示
●漏電・感電の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部から離す
指示
●電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くには設置しない
指示
●本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
指示
●火災・ショート・発火の原因になります。

医用電気機器の近くで設置や使用をしない
指示
●手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まないでください。
本製品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
※CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠注意

火気を近づけない
禁止
●火災の原因になることがあります。

落下させたり強い振動・衝撃をあたえない
禁止
●けがや故障の原因になります。

コネクター部に無理な力を加えない
禁止
●損傷や感電の原因になります。

湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない
禁止
●火災・感電の原因になることがあります。

LEDライト点灯時にライトを直視しない
禁止
●目を傷める原因になることがあります。

ACアダプターは、屋外では使わない
指示
●ACアダプターは防水構造ではありません。

本製品は日本国内専用です
指示
●放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

使用上のご注意

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定のところに設置してください。

動作温度：0 ℃～ 40 ℃
動作湿度：10% ～ 80%（ただし、結露なきこと。）

パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

スクリーンセーバーの使用をおすすめします。

直射日光のあたる場所には設置しないでください。

室温が動作温度以内でも局部的に高温になりますので、本製品の変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

レンズにキズや汚れをつけないでください。

きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなかったり、変形や故障の原因になります。

冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

カメラのパン／チルト可動部に、無理な力を掛けないでください。

故障の原因になります。

本製品に磁石など磁気をもっている物を近づけないでください。

磁気の影響を受けて動作が不安定になります。

CD-ROM の表面に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください。信号面に指紋や傷をつけたりしないでください。

データが正常に読み取れなくなります。

直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さないでください。

撮像素子が破損する原因になります。

隣接して使用しているラジオやテレビから 2 m 以上離してください。また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。

ジャック内部に触れないでください。

故障の原因になります。

お手入れの際は、電源を切ってください。

誤動作の原因になります。

■ 本製品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
■ 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

無線通信の使用範囲について

次のような機器と同時に本製品を使用しないでください。（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置や POS システムなど 2.4GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください。

（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
（電波を反射する物体が周囲にあると、反射した電波との干渉で通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）

- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- トタン製の壁
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス
- 壁を何枚もへだてたところ

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz 帯の周波数を使用する無線機器です。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止してください。

注意事項

●本製品は、夜間の撮影を可能にするため、赤外線に対する感度が高くなっています。そのため、赤外線を強く反射する物（化学繊維の含まれた衣服等）を撮影すると色が変色して見えることがあります。
●本製品のキャビネットを開けないでください。（保証対象外になります）

セキュリティに関するご注意

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

行うべきセキュリティ対策は下記のとおりです。

■ 本製品へアクセスするための ID（ユーザー名）／パスワード、本製品に対する設定情報は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。

■ 本製品を盗難に遭いにくい場所に設置する。

■ お客様の利用情報（ビデオ映像･静止画･インターネットコンテンツなど）は､お客様の責任管理下にあります。それらの利用者情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。

■ 以下のような場合は、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を工場出荷値に戻す。
- 当社が関与できない外部業者に修理を依頼するとき。
- 他人に譲渡するとき。

■ 本製品を廃棄するときは、本製品を初期化して工場出荷値に戻す、または、電気的消去や物理的破壊などの手段により本製品上の情報を抹消する。

プライバシーに関するご注意

プライバシー・肖像権について
カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾われる音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！
お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です

無線 LAN では、イーサネットケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID
- パスワード
- 通信画像
- E メール

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

■ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アダプター、ホームネットワークカメラやカメラコントロールユニットをはじめとする無線 LAN 製品（以下、無線 LAN 製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 製品をご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線 LAN 製品を使用することをおすすめします。
セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

免責事項

■免責について
·本製品は盗難·犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。
·本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失·事業の中断·記録内容の変化·消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
·地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
·取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
·弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
·本製品を使用中、万一何らかの不具合により、録画·録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
·お客様ご自身または権限のない第三者が修理·改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
·本製品により記録·編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録·編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
·商品の設置（取付け·取外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

■個人情報の保護について
·本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物·その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。（その映像の開示·公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。）
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

■著作権·肖像権についてのご注意
·本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
·お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権·肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

■輸出制限について
·本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

■用途制限について
·本製品は、一般家庭を意図として設計·製作されています。
·生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
※高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

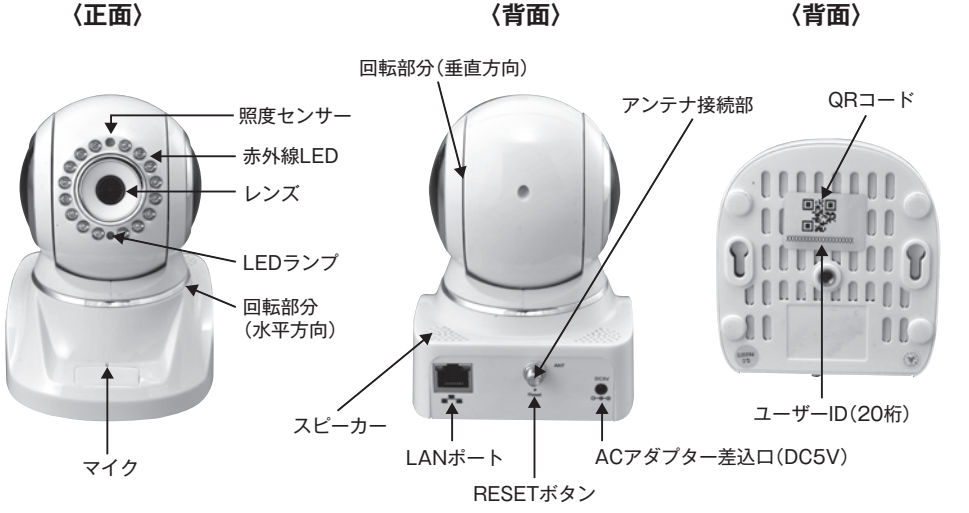
■商標、及び、登録商標について

- iPhone、iOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- App Store は、Apple Inc のサービスマークです。
- Android、Android™ は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 記載されている会社名、ロゴおよび商品名は、各会社の商標または登録商標です。

■その他の注意事項

- 本商品は定期的（約４０秒毎）にサーバーへアドレス情報などを送信していますので、インターネットなどの環境により通信費がかかります。
- 「SIPCamLive」のダウンロードには通信費がかかります。3G、4G などの接続で画像を見る場合は、パケット定額サービス等への加入を強くおすすめします。動画データの受信に多くのパケット通信を必要とします。
- 「SIPCamLive（アプリ）」の仕様は、予告なく変更する場合があります。
- 本製品の仕様、および、外観は予告なく変更する場合があります。
- スマートフォン·タブレットの操作については、それぞれの取扱説明書（ユーザーガイド）などの記載内容に準じてください。
- 写真と実際の製品の色は、印刷のため多少異なる場合があります
- 製品の仕様、および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品は、日本国内専用です。

各部の名称とはたらき



名称	はたらき
レンズ	映像を撮影します。
赤外線 LED	周囲が暗くなると赤外線を発光します。
照度センサー	周囲の明るさを検知します。
スピーカー	端末からの音声等を伝えます。
マイク	周囲の音をひろいます。
LAN ポート	LAN ケーブルを接続するためのポートです。
アンテナ接続部	アンテナを取り付けるコネクタです。ワイヤレス LAN（WLAN）の送受信部です。
リセットボタン（RESET）	カメラの設定を工場出荷状態に戻すボタンです。 先の細い工具等でボタンを押すと、LED ランプが早く点滅してから消灯します。 消灯したらボタンから外してください。カメラが回転して初期化されます。 ＜初期値＞

パスワード	名称	画質	上下・左右反転	環境設定
000000	Android：Camera iOS：カメラ	中	通常	屋内（50Hz）

AC アダプター差込口（DC5V）	専用 AC アダプターを接続します。
QR コードラベル	「QR コード」と「ユーザー ID（20 桁）」が印刷されています。

使用開始の準備と使用イメージ

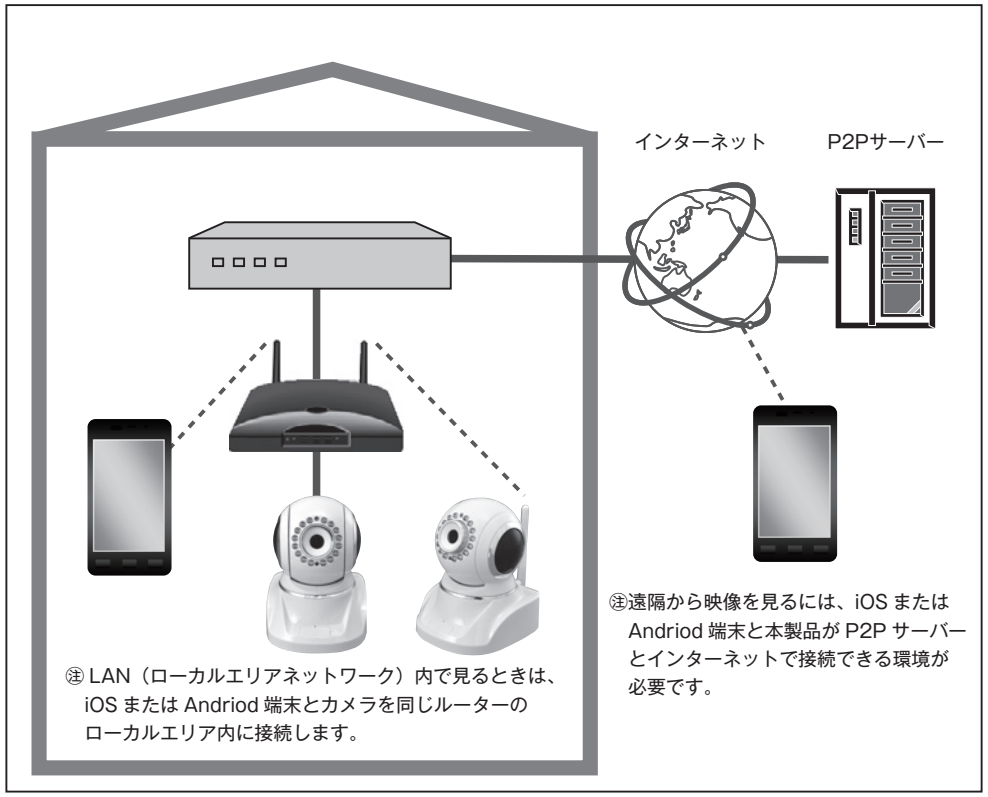
使用開始の準備

1 LAN ケーブルを LAN ポート（他方はルーター、ルーター機能付モデム）に接続します。

2 専用アンテナをアンテナ接続部に回転して固定します。固定後にアンテナを立てます。

3 専用 AC アダプターのプラグを ACアダプター差込口に接続して、電源を入れます。
しばらくすると、本製品の LED ランプが点滅し（消灯の状態もあります）、レンズ部分が回転してからほぼ正面の位置に静止します。これで準備完了です。

使用イメージ



設定・操作

◆ iOS 端末、MD240J/A（iOS 7.1）、SIPCamLive バージョン 1.8 の操作性、画像を基本に説明しています。

◆ Android 端末は、HTC J ISW13HT（Android バージョン 4.0.4）、SIPCamLive1.0.3 の操作性、画像を基本に説明しています。

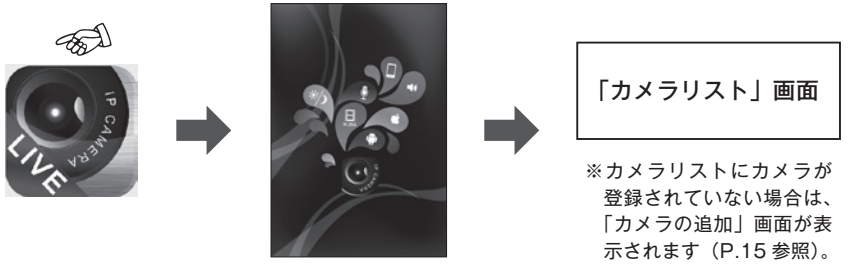
＊本説明書は SIPCamLive に関する操作説明書です。スマートフォン／タブレットの操作については各々の説明書をご覧ください。

＊設定時に入力する英字は、大文字と小文字を別の文字と認識しますので、ご注意ください。

使用を開始する（アプリのインストール）

1 <「SIPCamLive」のアプリをダウンロード>
iOS 端末は「App Store」、Android 端末は「Play ストア」から「SIPCamLive」を検索・ダウンロード・インストールします。
※「App Store」で検索して見つからない場合は、「iPhone のみ」を選択して検索してください。

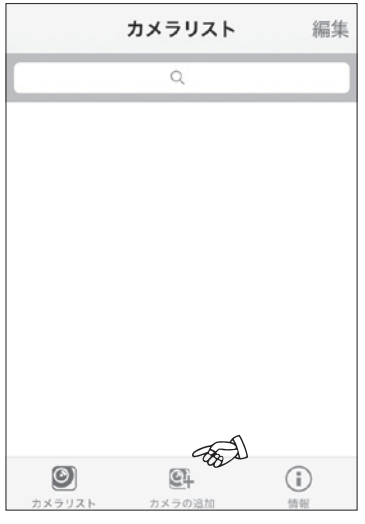
2 ダウンロードした「SIPCamLive」をタップして起動させ、「カメラリスト」の画面を表示します。



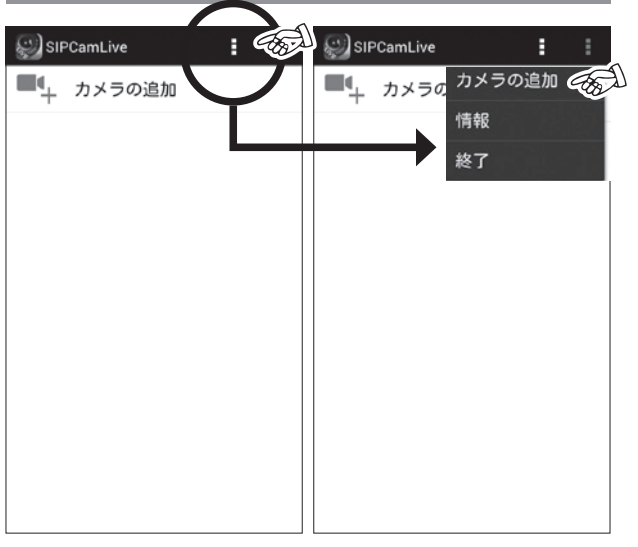
※カメラリストにカメラが登録されていない場合は、「カメラの追加」画面が表示されます（P.15 参照）。

3 <カメラの追加の方法>
「カメラリスト」画面の「カメラの追加」をタップする。
㊟最大登録数は 4 台です。

iOS 端末



Android 端末



4「カメラの追加」画面が表示されます。

iOS 端末

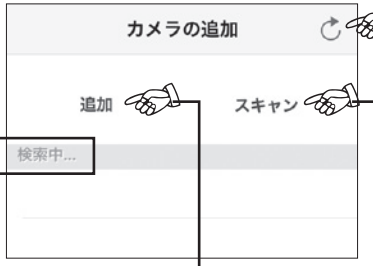
Android 端末

設定の続きは
「カメラの追加」P.16 へ

設定の続きは
「カメラの追加」P.18 へ

使用を開始する（カメラの登録）【iOS端末の場合】

カメラの追加方法には、以下の３つがあります。



ローカルエリアネットワーク内の本製品を再検索します。

方法①「検索結果」から

1 カメラの追加画面に移動した際、本製品が端末と同じローカルエリア内のネットワークに接続されている場合、ネットワーク内の本製品の「ユーザー ID」が表示されます。

2 表示された項目をタップします。

方法②「追加」から

1「追加」をタップします。
登録画面が表示されます。

2「ユーザー ID」をタップして、「ユーザー ID〈本製品底面ラベル(P.11 参照)に記載〉」を入力します。

方法③「スキャン」で

1「スキャン」をタップします。
スキャン機能が起動します。

2 本製品の本体底面に貼り付けられているラベルの QR コード(P.11 参照)を□の中に表示させてスキャンします。

Cancel	「カメラの追加」画面に戻ります。
Light	端末のライトを点灯 / 消灯します。

3「名称」と「パスワード」を入力します。
名称は、初期値『カメラ』と表示されていますが、任意に変更可能です。
㊟パスワードの初期値は、数字のゼロ６個「000000」です。

4「保存」をタップします。

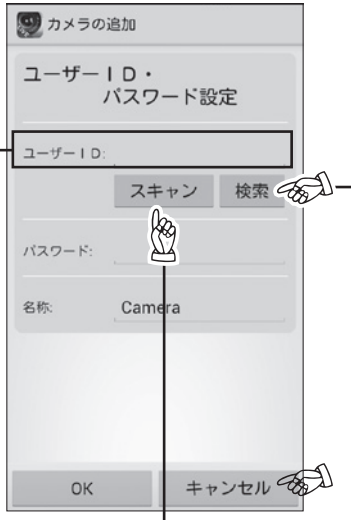
※「キャンセル」をタップすると、「カメラの追加」画面に戻ります。

「カメラリスト」画面に移動します。
リスト内にカメラが登録されています。
しばらくすると、「接続」が表示されます。
㊟「接続」が表示されない場合は、「ユーザー ID」や「パスワード」、インターネット環境等をご確認ください。

カメラリストの画面操作⇒ P.20

使用を開始する（カメラの登録）【Android端末の場合】

カメラの追加方法には、
以下の３つがあります。
㊟カメラの追加は、P.12 の
「カメラ接続の準備」を行った後に
行ってください。



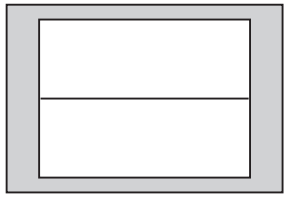
方法① 「追加」から

1「ユーザー ID」をタップして、「ユーザー ID〈本製品底面ラベル(P.11 参照)に記載〉」を入力します。

方法② 「スキャン」で

㊟ スキャナー機能がない端末は、「QR コードスキャナー」のアプリのダウンロードすることができます。

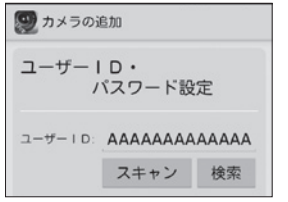
1「スキャン」をタップします。
スキャン機能が起動します。



2 本製品の本体底面に貼り付けられているラベルの QR コード(P.11 参照)を□の中に表示させてスキャンします。

方法③ 「検索」して

1 カメラの追加画面に移動した際、本製品が端末と同じローカルエリア内のネットワークに接続されている場合、ネットワーク内の本製品の「ユーザー ID」が表示されます。



㊟カメラが見つからない場合は、「LAN 接続のカメラ 再検索」画面が表示されます。再検索しないときは、背景画面をタップします。

3「名称」と「パスワード」を入力します。
名称は、初期値『Camera』と表示されていますが、任意に変更可能です。
㊟パスワードの初期値は、数字のゼロ６個「000000」です。

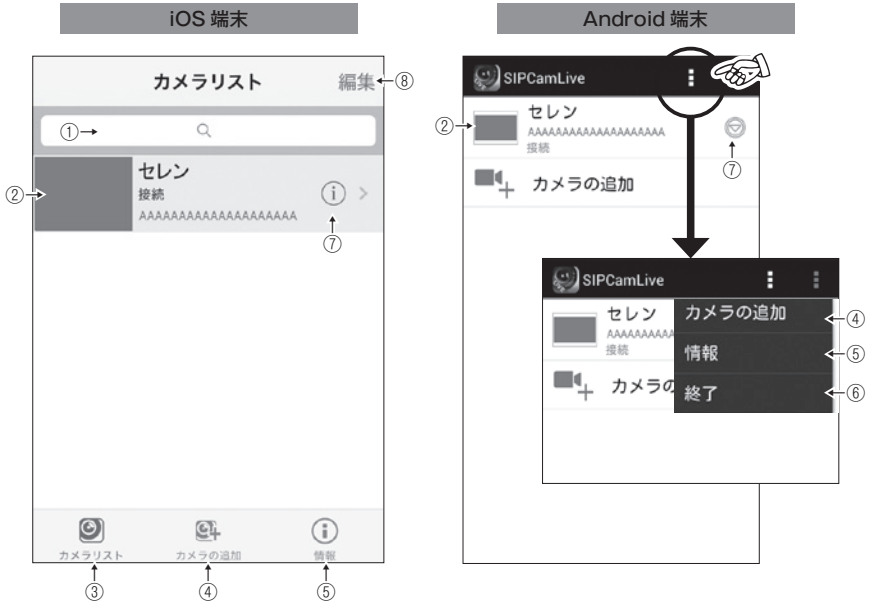
4「保存」をタップします。

※「キャンセル」をタップすると、「カメラの追加」画面に戻ります。

「カメラリスト」画面に移動します。
リスト内にカメラが登録されています。
しばらくすると、「接続」が表示されます。
㊟「接続」が表示されない場合は、「ユーザー ID」や「パスワード」、インターネット環境等をご確認ください。

カメラリストの画面操作⇒ P.20

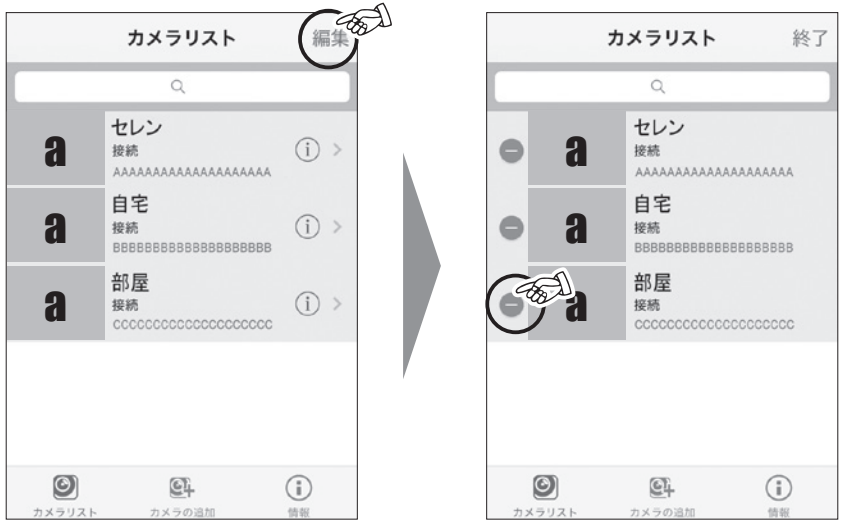
カメラリストの画面操作



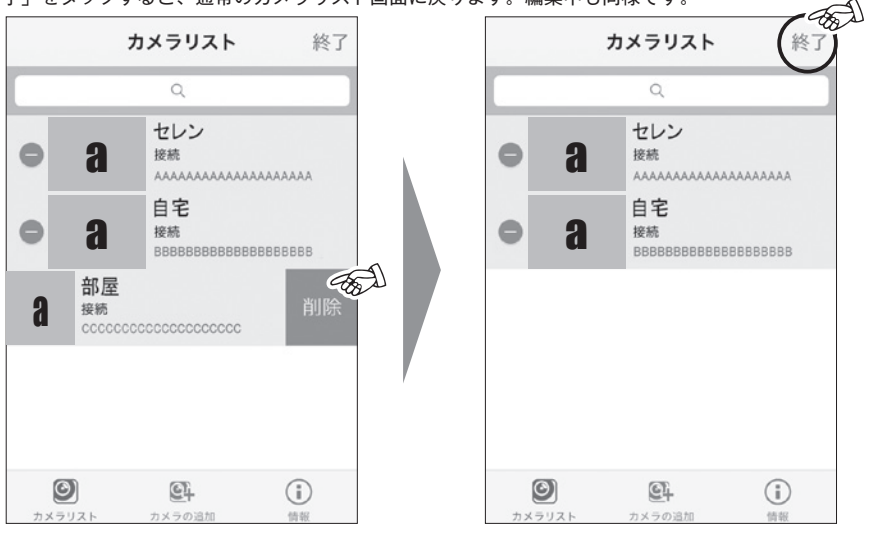
項目	iOS 端末	Android 端末	設定･操作
①検索	「カメラ名」を入力してリスト内のカメラを検索するときに使います。	−	−
②登録されているカメラ	登録されているカメラの「前回接続したときの最終映像の静止画」、「カメラ名」、「接続状態」、「ID」を表示しています。		−
③カメラリスト	カメラリスト画面に移動します。 ※上記画面ではそのままです。	−	−
④カメラの追加	カメラの登録画面に移動します。		−
⑤情報	アプリケーション情報画面を表示します。		−
⑥終了	−	アプリを終了します。	−
⑦カメラ設定	カメラ設定の画面へ移動します。		P.30
⑧編集	リスト内のカメラを削除します。		P.21

リスト内のカメラを削除　【iOS端末のみ】

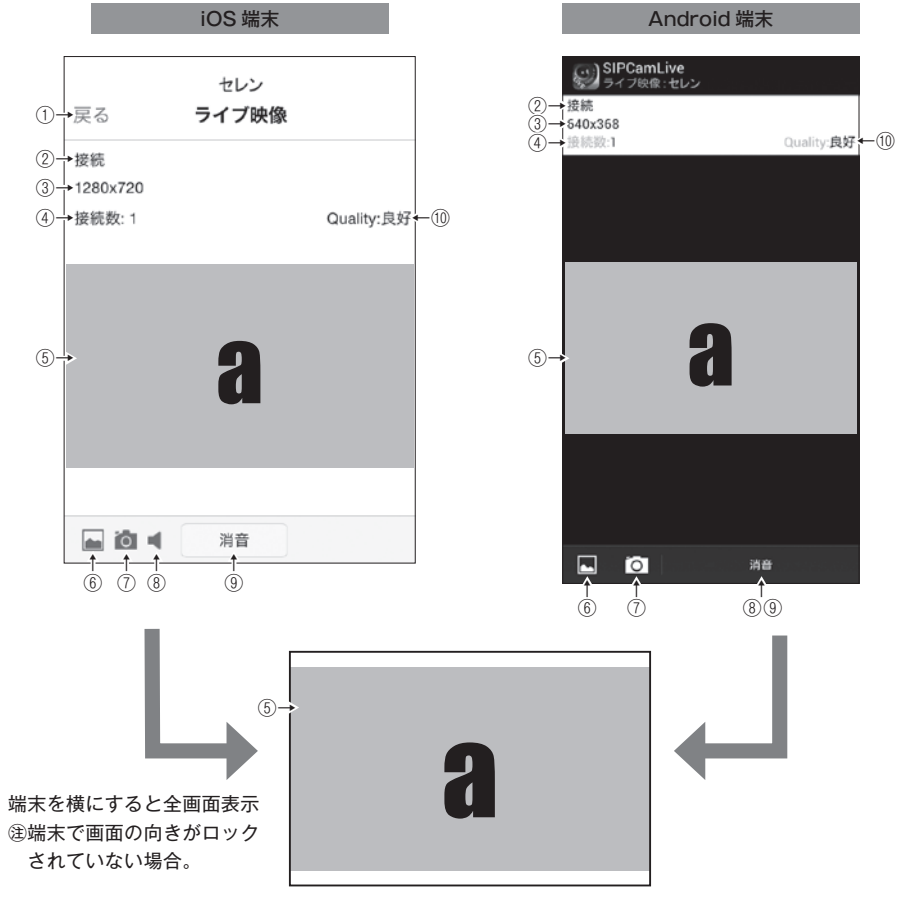
❶ P.20 を参照し、「カメラリスト」画面の「⑧編集」をタップすると、−マークが表示されますので、削除したいカメラの−マークをタップします。



❷ 表示された「削除」をタップすると、リストからカメラが削除されます。
「終了」をタップすると、通常のカメラリスト画面に戻ります。編集中も同様です。



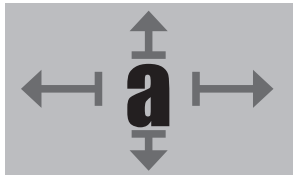
ライブ映像の画面操作



項目	iOS 端末	Android 端末	設定･操作
①戻る	カメラリストに戻ります。	※カメラリストに戻る場合は、本体の戻る機能ボタンをタップします。	–
②接続状態	接続の状態（接続・未接続・接続中など）を表示しています。		–
③画質	画質を表示しています。（1280 × 720・640 × 368）		P.34
④接続数	カメラに接続している端末数を表示しています。 ㊟接続できる最大数は 10 端末ですが、3 以内をおすすめします。 インターネットの接続状態により受信状態は異なります。		–
⑤ライブ映像	ライブ映像が表示されています。端末を横にすると全画面表示になります。 ㊟端末で画面の向きがロックされていない場合。		–
⑥スナップショットの編集	タップすると、保存されているスナップショットを表示します。 スナップショットを見たり、編集することができます。		P.24
⑦スナップショット	タップすると「保存しました」が表示され、スナップショットを保存します。 ㊟ズームしていない通常の画面サイズで保存されます。		–
⑧音声設定	音声設定メニュー画面が表示されます。「消音・スピーカー・マイク」の設定ができます。㊟設定変更後、別の画面に移動して、再度ライブ画面を表示したときは、「消音」設定に戻ります。		P.29
⑨音声表示	音声の設定状態（消音・スピーカー・マイク）を表示しています。		
⑩受信状態	受信状態の目安（良好・通常または普通・不可）を表示しています。		–
	㊟画像データをチェックするときに赤文字になるときがあります。		

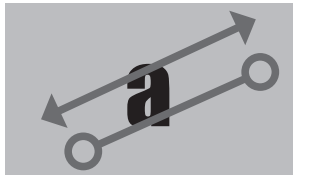
▼パン・チルト操作　〈水平角度：320° / 垂直角度 120°〉

画面を上に移動	⑤ライブ映像の画面を上から下へフリック
画面を下に移動	⑤ライブ映像の画面を下から上へフリック
画面を左に移動	⑤ライブ映像の画面を左から右へフリック
画面を右に移動	⑤ライブ映像の画面を右から左へフリック



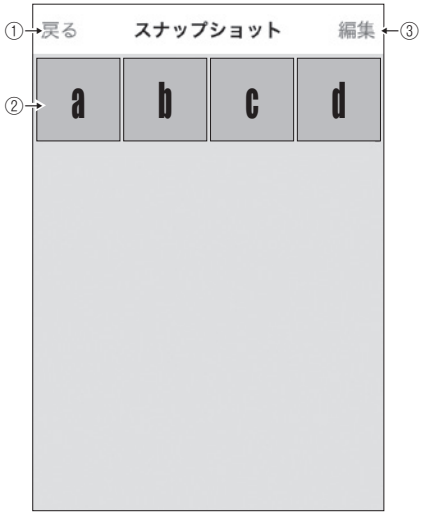
▼ズーム操作

拡大（ズームイン）	⑤ライブ映像の画面をピンチオープン
縮小（ズームアウト）	⑤ライブ映像の画面をピンチクローズ
㊟画面をピンチしたときに、パン・チルト機能が働く場合があります。 ㊟スナップショットは、通常の画面サイズで保存されます。	



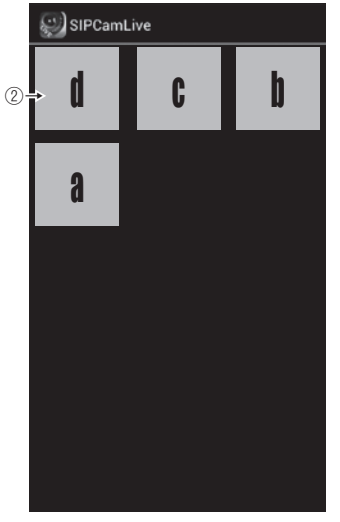
スナップショットの編集

iOS 端末



（ 並び順：古→新 ）

Android 端末

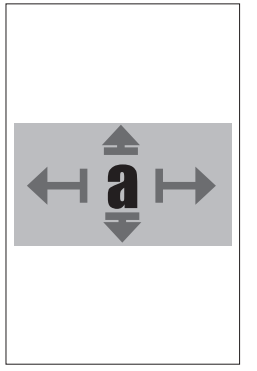


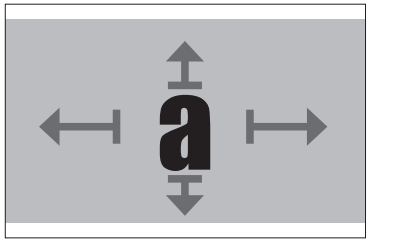
（ 並び順：新←古 ）

項目	iOS 端末	Android 端末	設定･操作
①戻る	ライブ映像に戻ります。	※ライブ映像に戻る場合は、本体の戻る機能ボタンをタップします。	－
②スナップショットのリスト	保存されているスナップショットを表示しています。 スナップショットは 1 枚ずつ拡大して見ることができます。		P.25
	㊟ iOS 端末は、スナップショットを拡大表示したときに「削除」、「メールで送信」、「保存（端末の［写真］の中へ）」の編集をすることができます。	㊟ Android 端末は、端末の「ギャラリー」に保存されます。 端末を操作して、通常の画像と同様に編集を行ってください。	P.25 ～ 28
③編集	スナップショットを削除します。		P.25

▼スナップショットを見る

スナップショットをタップすると、拡大して表示されます。
表示されたスナップショットをフリックすると、前後のスナップショットに移動します。【iOS 端末のみ】
メニューバーが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。





▼「編集」からスナップショットを削除する 【iOS 端末のみ】

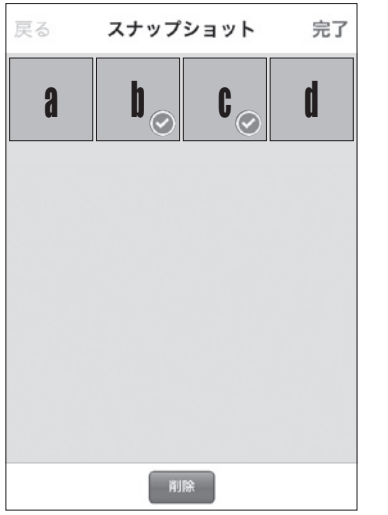
1 スナップショットのリスト画面「編集」をタップします。

2 削除したいスナップショットをタップします。
右のようにスナップショットに✓マークがつきます。
スナップショットは、複数選択可能です。

3 削除 をタップします。

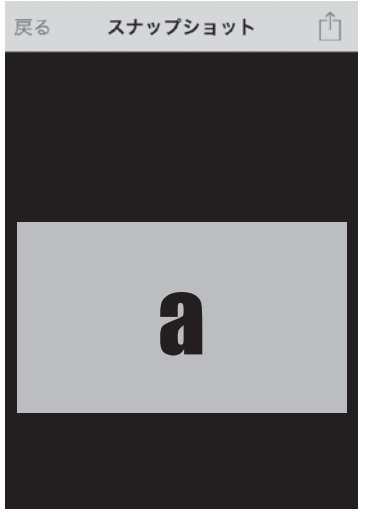
4 確認画面が表示されますので「OK」をタップします。

5 終了するときは、「完了」をタップします。
スナップショットのリスト画面に戻ります。



スナップショットの編集　【iOS端末のみ】

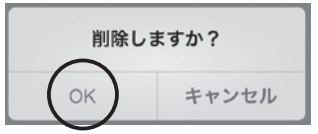
▼スナップショットを拡大表示してから削除する



1 削除したいスナップショットを 1枚拡大表示して⬆をタップします。
※メニューバーが表示されていない場合は、
画面をタップすると表示されます。

2 メニュー画面が表示されます。
「削除」をタップします。
※操作を中止するときは、「キャンセル」をタップします。

3 確認画面が表示されますので「OK」をタップします。
「キャンセル」をタップ→**1**に戻ります。



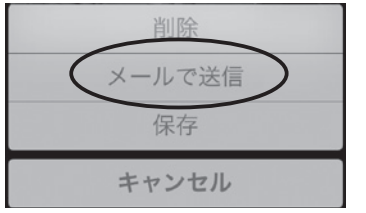
4 →スナップショットが削除され、1 つ前のスナップショットが
表示されます。

5 終了するときは、「戻る」をタップします。
スナップショットのリスト画面に戻ります。

▼スナップショットをメールで送信する

1 送信したいスナップショットを 1枚拡大表示して⬆をタップします。
※メニューバーが表示されていない場合は、
画面をタップすると表示されます。

2 メニュー画面が表示されます。
「メール送信」をタップします。
※操作を中止するときは、「キャンセル」をタップします。



3 メール入力画面が表示されます。
※端末のメール設定が使用されます。
送信元のアドレス・入力方法も、端末のメール設定と同様です。
※件名・本文には、スナップショット名が記入されています。

4「送信」をタップ→メールが送信され、**1**に戻ります。
「キャンセル」をタップ→下の確認画面が表示されます。

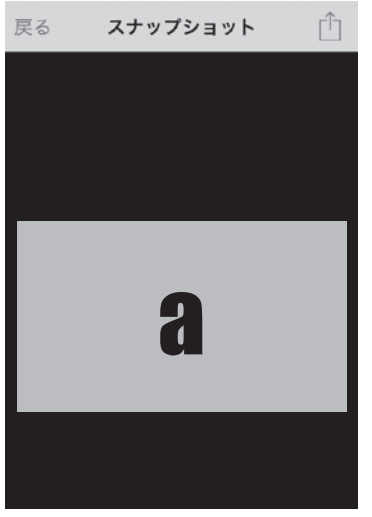
◆「下書きを保存」→端末のメール / 下書きに保存されます。
◆「下書きを削除」→**1**に戻ります。

5 終了するときは、「戻る」をタップします。
スナップショットのリスト画面に戻ります。

スナップショットの編集　【iOS端末のみ】

▼端末［写真］の中に保存する

1 保存したいスナップショットを 1枚拡大表示して⬆をタップします。
※メニューバーが表示されていない場合は、
画面をタップすると表示されます。



2 メニュー画面が表示されます。
「保存」をタップします。
※操作を中止するときは、「キャンセル」をタップします。

㉓初回操作時、端末［写真］へのアクセス許可を確認されます。
「ＯＫ」を選択してください。「許可しない」を選択した場合、
スナップショットは保存されません。
アクセスを「許可しない」設定になっている場合は、
端末の「設定」→「プライバシー」→「写真」の
「SIPCamLive」をオンに設定します。

3 スナップショットが端末の「写真」に保存されます。
終了するときは、「戻る」をタップします。
スナップショットのリスト画面に戻ります。

音声設定

1 P.22 を参照し、ライブ映像の画面「⑧音声設定」をタップします。
2 メニュー画面が表示されます。
設定したい項目をタップします。

「消音」→音声が OFF の状態になります。
「スピーカー」→カメラ周辺の音を聴くことができます。
「マイク」→端末側の音声をカメラ側で出力します。
「戻る」※ iOS 端末のみ→メニュー画面を閉じます。

iOS 端末

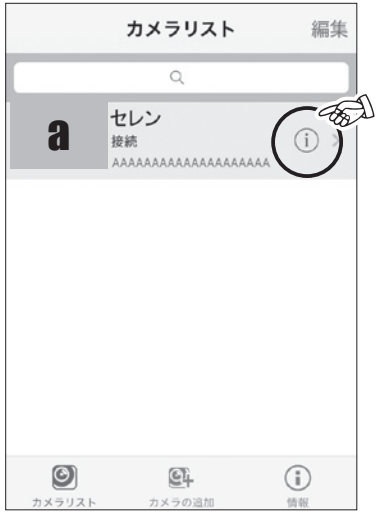
Android 端末

項目をタップすると、ライブ映像の画面に戻ります。

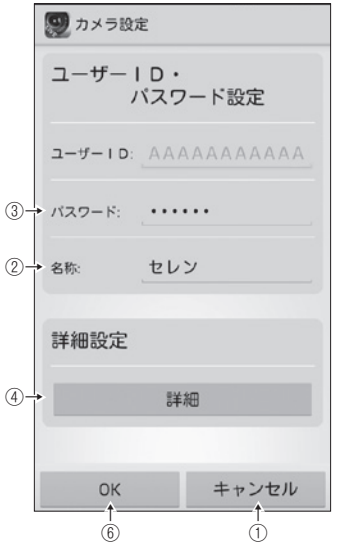
カメラ設定

本製品は、「カメラリスト」画面から下の○印のマークをタップして、カメラ設定画面に進むことができます。

iOS 端末



Android 端末



設定項目	iOS 端末	Android 端末	設定･操作
①再接続	−	本製品に接続します。	−
②カメラ設定	−	本製品のパスワード変更､名称変更､詳細設定をする画面を表示します。	P.31
③スナップショット	−	保存されているスナップショットを表示します。	P.24
④削除	−	カメラリストからカメラの登録を削除します。	−

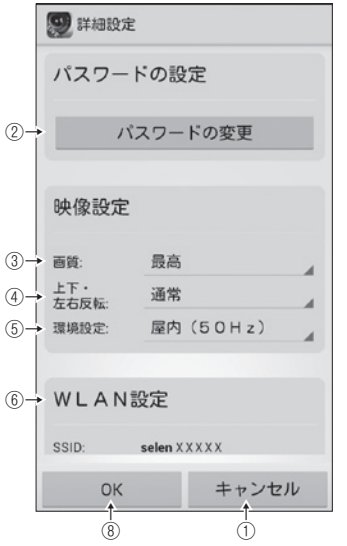
設定項目	iOS 端末	Android 端末	設定･操作
①戻る / キャンセル	前の画面に戻ります。		−
②名称	登録されているカメラの名称を変更することができます。		参考 P.17 P.19
③パスワード	本製品（カメラ）を登録するときにパスワードを入力します。		
④詳細設定 / 詳細	本製品の詳細設定をすることができます。 ▼詳細設定項目 ・画質 ・ライブ映像の上下・左右反転 ・環境設定（お住まいの電源周波数にあわせた設定） ・ワイヤレス LAN（WLAN）設定		P.32
⑤接続実行	本製品に接続します。	−	−
⑥ OK	−	設定を確定して、前の画面に戻ります。	−

詳細設定

「詳細設定画面」は、カメラ設定画面から表示させることができます（「カメラ設定」P.30 参照）。

iOS 端末

Android 端末



設定項目	初期値	iOS 端末	Android 端末	設定･操作
①戻る / キャンセル	—	「カメラ設定」画面に戻ります。		—
②パスワード変更	000000	本製品のパスワードを変更することができます。		P.33
③画質	中	画質を選択して設定できます。		P.34
④上下・左右反転	通常	ライブ映像を上下・左右・上下左右に反転して表示させることができます。		P.35
⑤環境設定	50Hz	お住まいの電源周波数にあわせて設定します。 ◆ 50Hz　◆ 60Hz		P.35
⑥ WLAN 設定	—	WLAN の設定ができます。	WLAN の設定ができます。	P.36
⑦製品情報	—	アプリケーション情報画面を表示します。	—	—
⑧ OK	—	—	設定を確定して、前の画面に戻ります。	—

パスワードの変更

1「パスワード変更」画面は、「カメラ設定」⇒「詳細設定」⇒「パスワード変更」の順に表示させます。
（「カメラ設定」P.30、「詳細設定」P.32 参照）
「パスワード」、「新パスワード」、「新パスワードの確認」を入力して「OK」をタップします。

iOS 端末

Android 端末

パスワードが変更されると、詳細設定の画面に戻ります。
途中でやめる場合は、「キャンセル」をタップします。

2 パスワード変更後は、必ず「カメラリスト」画面を表示し、接続状態が「接続」になったことを確認してください。

㊟本製品に接続できるすべてのユーザーが、パスワード変更することができます。

画質設定

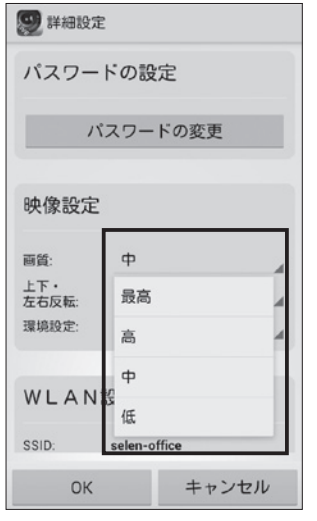
❶「画質」設定画面は、「詳細設定」画面から表示させることができます（「詳細設定」P.32 参照）。
４つの設定項目から選択したい画質設定をタップします。設定項目の内容は、下表の通りです。

画質	最高	高	中	低
画面解像度	1280 × 720	640 × 368	640 × 368	640 × 368
フレーム数	30FPS	30FPS	15FPS	5FPS

㊟フレーム数は、送信時のフレーム数です。受信状態はインターネット環境により異なります。

iOS 端末

Android 端末



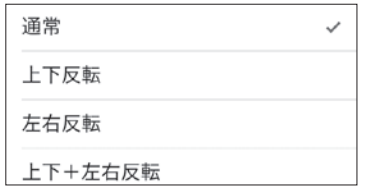
❷【iOS 端末】⇒「戻る」ボタンで前の画面に戻ります。
【Android 端末】⇒「OK」ボタンで前の画面に戻ります。

上下･左右反転設定

❶「上下・左右反転」設定画面は、「詳細設定」画面から表示させることができます（「詳細設定」P.32 参照）。
４つの設定項目から選択したい設定をタップします。設定項目の内容は、下表の通りです。

画質	通常	上下反転	左右反転	上下＋左右反転
ライブ映像の イメージ				

iOS 端末



Android 端末

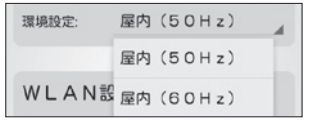
❷【iOS 端末】⇒「戻る」ボタンで前の画面に戻ります。
【Android 端末】⇒「OK」ボタンで前の画面に戻ります。

環境設定

❶「環境設定」画面は、「詳細設定」画面から表示させることができます（「詳細設定」P.32 参照）。
お住まいの電源周波数にあわせて設定をタップします。

iOS 端末

Android 端末



❷【iOS 端末】⇒「戻る」ボタンで前の画面に戻ります。
【Android 端末】⇒「OK」ボタンで前の画面に戻ります。

WLAN設定

「WLAN 設定」画面は、「カメラ設定」⇒「詳細設定」⇒「WLAN 設定」の順に表示させます。
（「カメラ設定」P.30、「詳細設定」P.32 参照）

㊟ WLAN 設定をするためには、WLAN 機能付きのルーターが必要です。

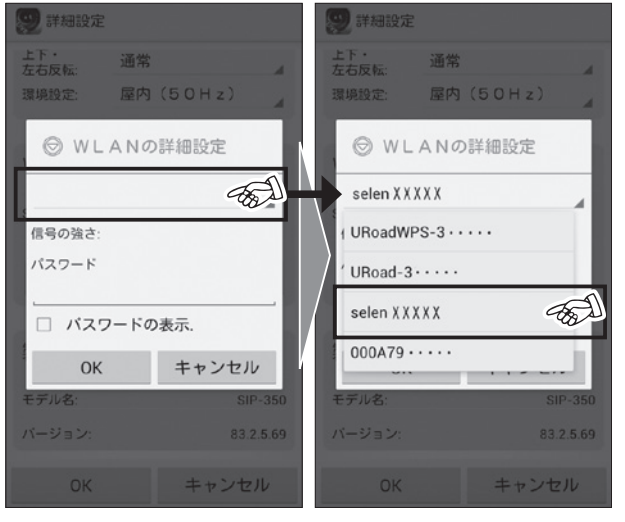
㊟ WLAN（無線 LAN）のセキュリティモードは、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）に対応しています。セキュリティ強度は下記の順番ですので、使用するときは高い設定をお勧めします。
WPA-PSK（TKIP）＜ WPA-PSK（AES）＜ WPA2-PSK（AES）

㊟ WLAN（無線 LAN）のパスワードに設定できる文字は“30 桁以内の半角英数字”です。
接続するネットワークのセキュリティモードやパスワードが、SIP-350 の対応できない内容に設定されている場合は、ルーターの設定を変更してください。

1「カメラ設定」⇒「詳細設定」の順に画面を切り替えて、「WLAN 設定」をタップすると「WLAN の詳細設定」画面に移動します（「カメラ設定」P.30、「詳細設定」P.32 参照）。
【iOS 端末】画面を表示するときに、接続可能なネットワークを検索して表示しますので、接続するネットワークをタップします。
【Android 端末】「WLAN の詳細設定」の「SSID」の部分をタップすると、接続可能なネットワークを検索して表示しますので、接続するネットワークをタップします。

iOS 端末

Android 端末



2「パスワードの設定」画面でネットワークの「パスワード」を入力し、「接続」をタップします。

2 次にネットワークの「パスワード」を入力し、「OK」をタップします。
「パスワードの表示」をタップして ☑ にすると、入力したパスワードを表示させることができます。

WLAN設定

3 〈本製品の動作〉

「パスワードの設定」の「接続」をタップするとLEDランプが消灯します（カメラが置かれた環境によっては消灯状態のままです）。

しばらくすると（環境によっては数分かかります）、LEDランプが点滅（カメラが置かれた環境によっては消灯状態のままです）して、カメラ部分が回転し設定された位置で停止します。

4 アプリを終了します。

5 〈LANケーブルを抜く〉

WLANのパスワード設定終了後、本製品のカメラ部分が回転し設定された位置で停止したことを確認して、本製品（SIP-350）の電源を切って本体からLANケーブルを外してください。

電源を切ってから10秒以上経ったことを確認して、再度電源を入れてください。

電源を投入後、数分後にカメラ部分が回転して設定位置で停止します（環境によってはLEDが点滅します）。

6 〈WLAN接続の確認〉

アプリを起動して、「カメラリスト」画面を表示し、接続状態が「接続」になったことを確認します。

㊟接続状態が「接続」にならない時は、インターネット環境、パスワードなどの再確認を実施して、設定をやり直してください。

㊟電源の入り切り等によりカメラが自動で回転した場合は、画質設定が「中」に変化する場合があります。カメラが自動で回転した場合は、画質など設定内容を再確認してください。

有線に変更する場合は、一度電源をオフにしてからLANケーブルを接続し、電源オフから10秒以上経ったことを確認して電源をオンにしてください。

仕様

型番		SIP-350
カメラ	撮像素子	1/4型カラーCMOS
	有効画素数	1メガピクセル
	最低被写体照度	0.5ルクス（赤外線投光時0ルクス）
	水平画角	約70°
	レンズ	f：3.6mm／F：2.0
内蔵投光器	ホワイトバランス	自動
	LED	16個
画像	投光距離	赤外線投光距離：約5m
	圧縮方式	H.264
	フレーム転送速度	30FPS（最大値）
	画像解像度	H.264（1280×720、640×360）
音声		内蔵マイク、内蔵スピーカー
LAN		100BASE-TX／10BASE-T（1ポート）
パン・チルトの回転角度		水平角度：約320°（左右160°）
		垂直角度：約120°（上下　60°）
使用環境	温度	約0～40℃
	湿度	約10～80%（結露なきこと）
電源	電源（専用ＡＣアダプター）	DC5V（2A）
消費電力	通常時	約4W
	ＬＥＤ投光時	約6W
	最大値（パン・チルト操作時）	約8W
外形寸法（本体のみ）[幅（W）×高さ（H）×奥行（D）]		約W98×H130×D105 (mm)
質量（本体のみ）		約400g
無線ＬＡＮ（WLAN）	規格	IEEE802.11g／IEEE802.11b
	通信周波数	2.4GHz帯
	使用チャンネル	1～13ch
	セキュリティモード	WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）
	アンテナ	RSMA専用アンテナ
スマートフォン・タブレット環境	Android	Android 4.0以上
	iOS	iOS 6.1以上

ホームネットワークカメラ 保証書

持込修理

本書は、取扱説明書・本体などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書内容にそって当社が無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。
また、本書は再発行しませんので、紛失しないように、大切に保管してください。

1. 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。
   (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   (ハ)火災、天災地変(地震、風水雪害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   (ニ)本書のご提示がない場合。
   (ホ)本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
   (ヘ)消耗部品の交換。
   (ト)一般家庭用以外(例えば業務用)にご使用の場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理で取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答などでお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、当社へご相談ください。

型 名		SIP-350	保証期間	1年間 (付属品除く)
お客様	お名前			
	ご住所			
★お買い上げ日				
★販売店	住所・店名			

見　本

○補修用性能部品の保有期間
・ホームネットワークカメラの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。修理のために必要なお客様の個人情報を当社から修理委託している保守会社などに提供する場合がございますが、個人情報保護法および当社の個人情報保護規定を遵守させますのでご了承ください。

株式会社 セレン 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-11-6(相馬ビル) 電話 03-5911-1045